

平成29年 第12回宇都宮市教育委員会会議録

- 1 日時 平成29年9月22日(金) 開始時刻 午前10時15分
- 2 場所 宇都宮市役所13階 教育委員室
- 3 出席者 水越教育長, 大場委員, 伊藤委員, 山田委員, 清島委員
- 4 説明員 水沼教育次長, 小堀学校教育担当次長, 梓澤教育企画課長,
富山総務担当主幹, 猪瀬学校管理課長, 栗原学校教育課長,
荒木学校健康課長, 増渕生涯学習課長, 伊藤中央図書館長,
松本文化課長, 阿部スポーツ振興課長, 田中教育センター所長
- 5 書記 大出課長補佐, 田上副主幹, 本田係長, 横塚係長, 関総括, 分田主事
- 6 傍聴者 3名
- 7 議題
 - (1) 審議事項
 - 議案第30号 宇都宮市就学援助費交付規則の一部改正
 - 議案第31号 宇都宮市学校職員服務規程の一部改正
 - (2) 報告事項
 - 報告第45号 平成29年9月議会一般質問の概要について
 - 報告第46号 教育行政相談の内容と対応について
 - 報告第47号 平成29年度教育委員会主要事業の進行管理について
 - 報告第48号 隣接校との通学区域弾力化等による平成30年度入学者の募集について
 - 報告第49号 テクノポリスセンター地区新設小学校の基本設計について
 - 報告第50号 平成29年度「とちぎっ子学習状況調査」の結果概要について
 - 報告第51号 「(仮称)第2次宇都宮市読書活動推進計画」の策定体制等について
 - 報告第52号 「教員研修計画」の策定体制等について
 - (3) その他
 - ① 「第12回うつのみや食育フェア」の開催について
 - ② うつのみや版親学と子どもの情報誌「こどもるっくる」第13号について
 - ③ 宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会の結果について
 - ④ 美術館企画展「エドワード・ゴッリーの優雅な秘密」展について
 - ⑤ 第23回うつのみや百人一首市民大会について
 - ⑥ 蓮生記念第4回全国競技かるた宇都宮大会について
 - ⑦ 「かがやく わたしの 写真展」の開催について
 - ⑧ 宇河地区特別支援学級児童生徒作品展について

8 議事の内容

教育長	それでは、ただいまから平成29年第12回宇都宮市教育委員会を開会します。 会議録署名委員の指名 大場委員，清島委員
教育長	第11回教育委員会の会議録についてご意見などありますか。 (特になし，全員了承)
教育長	それでは，山田委員，清島委員に署名をお願いいたします。 (会議録に署名)
教育長	報告第46号は，「個人情報が含まれているもの」であるため，非公開としてよろしいでしょうか。 (全員賛成)
教育長	全員賛成ですので，これらにつきましては非公開といたします。
教育長	それでは，審議事項に入ります。 議案第30号 宇都宮市就学援助費交付規則の一部改正 について説明願います。
学校管理課長	【説明要旨】 ○ 就学援助の小学校入学予定者に対する入学準備金の支給，及び民生委員訪問の廃止に伴い，宇都宮市就学援助費交付規則の一部を改正する。
教育長	説明が終わりましたが，質疑などありますか。(特になし)
教育長	このとおり決定してよろしいか。(全員了承)
教育長	それでは，議案第30号を決定いたします。
教育長	議案第31号 宇都宮市学校職員服務規程の一部改正 について説明願います。
学校教育課長	【説明要旨】 ○ 職員の育児休業等に関する条例の一部改正に伴い，同条例を引用する号番号を修正する必要が生じたことから，宇都宮市学校職員服務規程の一部を改正する。
教育長	説明が終わりましたが，質疑などありますか。(特になし)
教育長	このとおり決定してよろしいか。(全員了承)
教育長	それでは，議案第31号を決定いたします。

教育長

次に、報告事項に入ります。

報告第45号 平成29年9月議会一般質問の概要について説明願います。

【説明要旨】

総務担当主幹

○ 平成29年9月議会では、18件の質問があった。

教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。

伊藤委員

外国人子女に対する日本語教育について、学校に入った後は、日本語指導講師が母国語を用いて普段の生活で最低限必要な日本語や学校生活に適應するための指導を行っているかと答弁がなされているが、かなりの母国語に対応できるような体制なのか。

学校教育課長

まず、学校に入る前に、教育センター内にあるはばたき教室において2か月間学習する。現在の指導員は1名であり、最も求められている中国語を話せる方を採用している。その指導員は独自に勉強し、数か国語を話せるが、どうしても対応が難しい場合には、日本語指導講師をはばたき教室に呼び、2名で対応していくこともある。学校に入った後は、日本語指導講師が指導を行うが、今年度は16名を雇っており、児童生徒の全ての母国語に対応できるような体制を整えている。例えば、この16名では対応できない言語の国から転入してくることがわかったら、新たに17名目の日本語指導講師を採用し、状況に合わせて講師を探して対応しているところである。

伊藤委員

宇都宮市には多様な国の方が住んでいるので、安心した。

教育長

このとおり承認してよろしいか。(全員了承)

教育長

それでは、報告第45号を承認いたします。

教育長

報告第47号 平成29年度教育委員会主要事業の進行管理について説明願います。

【説明要旨 (前半)】

教育企画課長

○ 事務局の事務執行にかかるチェック機能の強化を図るため、平成29年度教育委員会主要事業の進捗状況について報告する。

○ 主な内容については下記のとおり

○ 教育企画課

● 人づくりの推進

- ・ 人づくりフォーラムの効果的な開催について、主な事業内容は、ビデオメッセージをもとにした発表会と、講演会を予定している。

○ 学校管理課

● 学校施設の老朽化対策(校舎大規模改造事業等)の計画的推進

- ・ コンクリートコア抜き調査の実施と老朽化対策の再整備を行っている。
- ・ 7月には、小学校15校、中学校6校においてコア抜き調査の契約を結んだ。

- トイレ洋式化計画の推進
 - ・ 4月から17校の工事に着手している。
 - ・ 体育館や屋外トイレの洋式化について、災害時の避難所としての機能を踏まえ検討を進めている。
- 学校教育課
 - 小中一貫教育・地域学校園の推進
 - ・ 5月から乗入授業を開始した。
 - ・ 担当指導主事による地域学校園の訪問などにより、地域学校園の指導助言や研修を行っている。
 - 学力の向上
 - ・ 教育委員会内に学力向上対策ワーキンググループや対策検討会議を設けて、学力向上対策に向けた検討を進めている。
 - 心の教育の推進とたくましさの涵養
 - ・ 4月から、道徳の特別教科化に係る研究指定学校園としている陽南地域学校園において、研究を進めている。
 - 学校経営の改善
 - ・ 国の働き方改革の動向を踏まえ、教職員の勤務時間管理について各学校に呼びかけた。
 - 児童生徒指導の強化
 - ・ 国の方針が改訂されたことに伴い、市いじめ防止基本方針策定にかかる検討を進めている。
 - ・ 学力向上と併せて、不登校についても検討会議を設けて検討を進めている。
 - 英語教育の強化
 - ・ 4月から、英語の教科化に向けて、8人増である38人のALTを小中学校に配置した。
 - ・ 道徳の特別教科化に係る研究指定学校園としている城山地域学校園において、研究を進めている。
- 学校健康課
 - 「(仮称) 宇都宮市小中学校健康教育推進計画」の策定
 - ・ 計画策定の検討を進めているところであり、10月の委員 de サロンにおいて教育委員の皆様から意見をいただく予定である。
 - 学校・家庭・地域が連携した食育の推進
 - ・ 5月から、より実践的な食育と保護者の監督による家庭における望ましい食生活の実現を図るための国の事業である「つながる食育推進事業」を今泉小学校で実施している。
 - 体力向上の推進
 - ・ 8月から、部活動指導員派遣事業に向けた庁内検討を進めている。

教育長 伊藤委員	前半の説明が終わりましたが、質疑などありますか。 道徳の教科化に非常に関心があり、具体的に現場の方がどう考えているのか、またその現場でどう協議しているのかを知りたい。オブザーバーとして何も発言しないつもりであるが、色々な取組に参加する機会を設けてほしい。
学校教育課長 大場委員	考えたい。 実施状況に、意見交換会や懇談会、検討会議など、様々な会議や研修が記載されており、授業がある日に設定されているのだと思うが、その際に先生方が学校を抜けてしまうことについて、どのように対応されているのかを教えてください。
学校教育課長	授業を持っている担任などの場合は、出張扱いとし、別のあいている教員がその授業を行う補教として対応する方法もあるが、なるべく補教にはせずとも正規の授業を行えるよう、時間割を交換して工夫している。うまくいかないときには、学習プリントを用意してプリント学習とし、監督として別の先生に入ってもらうこともある。
大場委員	私の数十年前の小中学生の頃、先生が出張でいらっしゃらないときにはすごく気が抜け、普段のような充実感がなかったように思う。仕方ないことかとは思いますが、できるだけ正規の授業を行えるようにしてほしい。
教育センター所長	様々にたくさんの研修があるが、なるべく一緒にできるようなものは整理して、夏休みに多く開催できるようにしている。
大場委員	先生方の夏休みが少なくなってしまうという悩みもあると思うが、やはり子ども第一でお願いしたい。
山田委員 教育センター所長	不登校対策作業部会の議事録を見せてほしい。 議事録としてはまとめていないが、部会の中でどういう結果になったかを簡単にまとめたものはある。なお、先月の定例会の報告案件である「平成28年度いじめ、暴力行為、不登校の状況について」に、概ね集約されている。また、最終的には手引書のような形で話合いの結果を学校に出す予定である。
清島委員	食中毒について、宇都宮市では十分に気を付けていると思うが、隣の県で食中毒の話があったこともあり、さらに頑張ってもらいたい。現在の状況報告をしてほしい。
学校健康課長	今年度は一切食中毒を出していない。民間委託がかなり進んでいる中で、学校調理業務に携わる業者に対して毎年定期的な研修会等を開催し、食の安全性確保に取り組んでいる。研修会等は、学校給食に携わる学校栄養士も参加しており、食中毒や誤食、アレルギー対応を重点的に指導し、厳格に対応している。
山田委員 学校健康課長	栄養教諭は学校に何人いるのか。 平成29年度の栄養教諭は17名である。その他に、県費採用と市費採用の学校栄養士がいるため、学校栄養職員全体では94名いる。
教育長	それでは各課の担当委員から、総評・総括をお願いしたい。まずは伊藤委員から学校教育課についてお願いします。
伊藤委員	進行管理はしっかりと行えている。各事業をさらに推進していただき、評価が

難しいところもあるかとは思いますが、こういった点がどう前進したか、次回の年間まとめの報告の際に聞かせてほしい。頑張ってもらいたい。

教育長
清島委員

清島委員から学校健康課についてお願いします。

先程も話した食中毒は、子どもたちに直接被害をもたらすものであるため、より一層取り組んでほしい。また、近所に、防球ネットの上の方からバトンが通してあるロープを垂らしている学校があり、おそらく投力の向上に早速取り組んでいるのだろうと思った。各学校でいろいろな取組をしていると思うので、よい取組のきっかけとなるよう、各校の取組を他の学校に周知してはどうか。引き続き、よろしくお願いします。

教育企画課長

【説明要旨（後半）】

- 生涯学習課
 - 家庭教育支援の推進
 - ・ 家庭教育支援チーム等に関する調査を実施した。
 - 魅力ある学校づくり地域協議会事業の推進
 - ・ コミュニティスクールの今後の進め方を検討している。
 - ・ 国の制度である地域未来塾の取組に係るヒアリングを、実施中である豊郷中、国本中、陽西中にて行った。
 - 宮っ子ステーション事業の推進
 - ・ 放課後子ども教室は現在52校あるが、戸祭小ほか2校に説明を行い、拡大に向けて取り組んでいる。
 - ・ 今年度から始まった利用助成事業は円滑に進んでおり、8月末時点で約400件の申し込みがあった。
 - 市民の読書活動の推進と読書環境の整備
 - ・ 図書館情報システムの更新に向けて検討を進めている。
 - ・ 宇都宮市読書活動推進計画の改定に向けて検討を進めている。
- 文化課
 - まちなか歴史文化情報交流拠点整備に向けた検討
 - ・ 歴史文化基本構想策定作業に合わせて、庁内にて機能等の検討を進めている。
 - 大谷石に関する歴史文化資源の保存活用の推進
 - ・ 日本遺産の認定に向けて、大谷石を中核テーマとした魅力あるストーリーの検討を進めている。
 - 宇都宮伝統（ふるさと）文化継承事業の推進
 - ・ 10月に開催予定の伝統文化フェスティバルの開催にむけて準備を進めている。
 - 百人一首事業の推進
 - ・ 8月に百人一首市民大会の参加者募集を締め切ったところ、過去最多である839人から申し込みがあった。

- スポーツ振興課
 - 「ひとり1スポーツ」の推進
 - ・ 6月から地域スポーツクラブ未設置地区へのヒアリングを行っている。
 - ・ 8月から、広報うつのみやに各地域スポーツクラブの紹介を毎月連載している。
 - スポーツ施設整備計画の推進
 - ・ 北西部地域への体育施設整備については、5月から基礎調査業務委託契約の締結に着手し、アンケート調査やヒアリング調査を行っている。
 - ・ 宮原運動公園野球場解体については、4月から解体工事設計に着手し、8月に解体工事落札候補者が決定した。
- 教育センター
 - 特別支援教育の推進
 - ・ 対応が難しい子どもについて、緊急対応臨時職員の配置にて対応している。
 - 教職員の資質・能力の向上
 - ・ 若手から中堅教員までの資質・能力の向上や、次期学習指導要領の実施に向けた研修の実施に取り組んでいる。
 - 情報教育の推進とICTの効果的な活用
 - ・ タブレット型パソコンの計画的な導入に向けて、8月に導入業者が決定した。
 - ・ 第2次宇都宮市学校ICT化推進基本計画の策定作業を進めており、10月の委員deサロンにて教育委員の皆様から意見をいただく予定である。

教育長
伊藤委員

説明が終わりましたが、質疑などありますか。

家庭教育支援の推進に関する事業として親学や家庭教育サポーターの充実に取り組むとともに、市民の読書活動の推進と読書環境の整備にも取り組んでいるようである。図書館では、親に対する読書活動の推進をどのように考えて進めているのか。

中央図書館長

第2次読書活動推進計画の策定作業を進めているところであるが、現在は、1歳6か月健診の際に宮っ子ふれあいブック事業として出向き、ボランティアを中心に読み聞かせを行っているとともに、各図書館で親子対象の0・1・2歳児おはなし会も実施している。これらにより、親に対して、幼児のうちから読み聞かせをしていいという認識をしていただけるように取り組んでいる。今後は、こういった事業を、地域に根付いたかたちでセンター等に広げていくことを、今回の計画で考えていきたいと思っている。

伊藤委員

図書館の職員が図書館に留まるだけでなく、親のところへ出向いて、どれだけ読書が子どもの教育によいことかを広めてほしい。

大場委員

どれも充実した内容で、非常によい取組をしていると思った。私は宇都宮氏について百人一首の関連しか知らず、総合教育会議での市長の発言にもあったよう

に、大変素晴らしい家柄であったことは全く知らなかった。宇都宮市の施設で行うべき中世宇都宮氏の企画展を、県立博物館で開催されていることは残念であり、まちなか歴史文化情報交流拠点整備を進めてほしい。今後の取組として先進都市の事例を踏まえた効果的な発信手法の検証とあるが、既に半期が経過して進んでいるかと思うので、途中経過を教えてほしい。

文化課長

博物館の主な機能としては、調査研究をする機能、資料収集や保存をする機能、情報発信をする機能があると考えている。第2次宇都宮市文化振興基本計画の調査において、「宇都宮の伝統や文化に個性や魅力を感じている市民」は26.2%で、わからないという回答が半数を超えており、主な機能のうち発信する機能が相対的に不足していると反省した。大場委員のおっしゃるように、本市として一体的に調査し発信していく機能が必要だと考えているが、その中でまずは、市民に発信する機能について庁内で検討を進めている。先進都市の事例としては、盛岡にある歴史文化館や青森にあるねぶたの家ワ・ラッセに視察に行き、その実態を踏まえて庁内の関係課とどのようなものが必要かを検討しているところである。市全体としての財政的な優先度もあるため、具体的にどのようなスケジュールで、どこから整備していくか、検討しているところである。

大場委員

ぜひ力を入れて、ますます頑張ってください。先月も申し上げたが、本市の広報紙はとても素晴らしいものであり、新聞と一緒に入ってくるが、思わず手に取って隅から隅まで読んでしまうほど内容が充実している。東京に行くと、駅にそれぞれの区の広報紙が置いてあり、それを読むと、やはり宇都宮はすごいなと感じる。広報紙に文化のページをいただいて、連続して情報発信することで、市民に興味を持っていただくことができると思います。JR宇都宮駅や東武宇都宮駅には市の広報紙は置いてあるのか。

総務担当主幹

以前広報広聴課に在籍していた知識の範囲内では、駅には置いていなかった。

大場委員

駅では待ち時間があると、そういったものを手に取りたくなる。人の目を向ける一つの手立てかと思うので、広報広聴課の管轄かもしれないが、是非本市でも駅に広報紙を置いてほしい。

清島委員

宮っ子伝統文化体験教室はどのような内容になっているか教えてほしい。

文化課長

伝統文化連絡協議会という組織があり、民話語りや郷土食の調理など、協議会に所属する様々な伝統文化を推進している皆さまにご協力いただき、学校に行っ

て子どもたちに体験をさせているものである。文化芸術としては宮っこふれあい文化教室を実施しているが、その伝統文化編として一体的に展開している。

清島委員

5種類の体験が書いてあるが、子どもたちと直接関わるということであれば、ぼうじぼを入れてもらえると面白いのではないかと思った。ご検討いただきたい。

文化課

伝統文化フェスティバル等でも、ぼうじぼづくり等は伝統文化連絡協議会のメイン事業として体験教室をやっているの、ノウハウはあるだろう。一つの種目として成立させるかどうかは別だが、需要があるかは検討していきたい。

清島委員

ハロウィンに負けないように是非取り組んでほしい。

山田委員 地域スポーツクラブについては、若い世代の方の参加が課題となっているので、企業との連携強化を図ってほしい。

スポーツ振興課長 地域スポーツクラブの新設については、現在、39地区のうち10地区にしかなく、まだまだ先が長いものである。また、高齢化が進んでいることにより、若手の方の参加については、スポーツだけでなく、市全体の課題となってきている。若手の参加のための企業との連携については、これまで目を向けていなかったことなので、今後は目を向けていきたい。

教育長 それでは、大場委員から文化課について総評をお願いします。

大場委員 本当にきめ細かな取組をしていただき、とても嬉しく思っている。とにかくこれを継続して、さらによいものにしてほしい。

教育長 次に、山田委員から生涯学習課について総評をお願いします。

山田委員 市民が生涯を通して学習する機会を提供したり、意欲の向上に取り組んだりなど、ライフステージに合わせたとても細やかな対応がされている。引き続き継続するとともに、高齢化が進む中で、若い世代の取り込みに注力してほしい。また、魅力ある学校づくり地域協議会について、コミュニティスクールの導入に向けて国の動向を見据えた検討を進めるという話を以前聞いたが、多くの地域の方々が関わっている中で、いきなり国の方向転換で変わるということは通用しないと感じている。国の方向性に近づけるような方策を今後検証し、宇都宮版のコミュニティスクールが発展していくとよい。

教育長 このとおり承認してよろしいか。(全員了承)

教育長 それでは、報告第47号を承認いたします。

教育長 **報告第48号 隣接校との通学区域弾力化等による平成30年度入学者の募集**
について説明願います。

【説明要旨】

教育企画課長 ○ 平成16年2月に策定した「学校規模の適正化に向けた通学区域見直し実施計画」に基づいて実施している「隣接校との通学区域弾力化制度」及び「小規模特認校制度」による、平成30年度入学児童募集について報告する。
○ 両制度とも、平成29年10月2日から平成30年1月15日までを募集期間とし、応募者数が募集人数を超える場合は、抽選により入学承認者を決定する。

教育長 説明が終わりましたが、質疑などありますか。

伊藤委員 このチラシは、どのように配布しているのか。

教育企画課長 小学校の新入生については就学前健診で配布しており、中学校入学も対象となる弾力化制度については小学6年生に学校を通じて配布している。また、HPにも掲載している。

伊藤委員 就学前健診はいつ頃行われるのか。

教育企画課長 学校によって時期は違うが、10月から11月にかけて実施している。

伊藤委員	この制度を知らなかったという人がいてはならない。過去の例では、そのような不平はあったのか。
教育企画課長	かなりの期間を設けて募集を行っているため、知らなかったということはあまりない。抽選になってしまうようなものは難しいが、基本的には抽選にはならないため、新入生に限らず、他の学年でも年度当初から入ることもできる。私の知る限りでは、制度を知らなかったという相談はない。広報紙にも掲載してPRすることによって、知らなかったという状況にならないように取り組んでいきたい。
教育長	このとおり承認してよろしいか。(全員了承)
教育長	それでは、報告第48号を承認いたします。
教育長	報告第49号 テクノポリスセンター地区新設小学校の基本設計について 説明願います。
学校管理課長	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 敷地の東側に建物を、西側に校庭を配置した。建物については、周辺地域の日照に配慮して、南側に3階建てとなる校舎を、北側に高さの低い体育館を配置した。 ○ 平成30年10月に工事着手し、平成33年4月の開校に向け整備を進めていく。
教育長	説明が終わりましたが、質疑などありますか。
伊藤委員	鬼怒川の東側は、東日本大震災の時にかなり被害があった。今後震災が起こったら、このアリーナあたりに地域住民が避難し、何日間か生活することを想定しているということではよろしいか。
学校管理課長	構造体については耐震性を持たせており、非構造部材についても、天井や照明は落下しないように、窓ガラスは強化ガラスにして飛散しないような設備としているため、避難所としての機能は十分果たせるものだと考えている。
伊藤委員	暑さや寒さの対策はどうなっているのか。備品ではなく、施設として、ある程度の寒暖に耐えられるようになっているのか。
学校管理課長	停電してしまうと空調設備等は一切機能しなくなるため、空調機能による対策は難しいが、冬場であれば、毛布などの非常用備品で対応できる。学校には在籍児童生徒のための備品があるほか、全市的な避難所の機能として、備蓄倉庫から備品を配備することができる。
教育次長	全市的な防災計画の中では、例えば1週間や10日間などといった一定期間の避難に対する施設的な設備は計画されていない。学校管理課長が申し上げたとおり、体育館の設備としてではなく、備蓄している別の場所から、暖房器具や間仕切り等の備品を持ってきて、それぞれの季節や状況に対応していく。
伊藤委員	新設小学校についても、防災対策機能としては既存の小中学校と同じだと考えてよいか。
学校管理課長	既存の小中学校とだいたい同じように、耐震性を持たせている。その他の防災

設備として、マンホールトイレの設置等についても今後検討していきたいと考えている。

山田委員 平成33年度までの清原中央小のクラス数の推移は、プレハブの校舎で十分対応ができるという理解でよろしいか。

学校管理課長 清原中央小は児童数の増加が著しい学校であるため、10教室を用意したプレハブの校舎を今年度中に設置する予定で計画を進めている。

山田委員 校庭は狭くなるのか。

学校管理課長 校庭の一番東側の花壇を撤去して、その場所に建築する予定である。なるべく子どもたちの活動の支障とならないよう進めていきたい。

教育長 震災の時のように校庭にずらっと並ぶことにはならない。現在の学校生活をできるだけ確保しながら進めていく。

教育長 このとおり承認してよろしいか。(全員了承)

教育長 それでは、報告第49号を承認いたします。

教育長 **報告第50号 平成29年度「とちぎっ子学習状況調査」の結果概要について**
説明願います。

【説明要旨】

- 学校教育課長
- 平成29年4月18日に、小学校4・5年生と中学校2年生を対象に県が実施したものであり、教科全体の平均正答率を県と本市で比較すると、いずれも県を上回っている。
 - 今後の取組として、学年単位での学習のまとめに力を入れていくとともに、学習規律の徹底を図っていく。

教育長 説明が終わりましたが、質疑などありますか。

伊藤委員 机間指導について説明してほしい。

学校教育課長 子どもたちが座っている机の間が机間であり、黒板の前に張り付いて授業をするのではなく、きちんと教室をまわり、一人一人の状況を確認しながら個々に応じた指導をしていくという意味で学校現場において使われている言葉である。

清島委員 学習規律とは具体的にどのようなことを指すのか。

学校教育課長 手を挙げて発表することや、話している人の方を向いて話を聞くこと、話を聞くときの姿勢などといった基本的なことから、ノートをとるときのルールや、小学校低学年でのつなぎ言葉のルールなど、広範囲にわたる学習の決まりを小学生のうちからきちんと学習させていくことである。落ち着いた環境の中で学習をすることが大切であることから、話を聞くことや発表することが基本となっている学習態度等の指導を行っている。

伊藤委員 学習規律の徹底や自ら学ぶ態度の育成には一部課題が見られるとあるが、どこを捉えて一部なのか。

学校教育課長 学校質問紙調査の結果として、小学校では『児童は授業中の私語が少なく、落ち着いている』学校の割合について、昨年度よりも小4が10.3%、小5が

伊藤委員	1. 5%減少した。この2学年にだけ見られた現象であるため、一部として学習規律を徹底していく必要があると捉えた。
学校教育課長	4年生の10.3%減は非常に大きい数字だが、なぜこのような結果になったのか分析をしているのか。
伊藤委員 教育長 教育長	1・2年生は、家庭環境等の影響で、なかなか落ち着かない傾向にあり、一般的には学年が進むにつれて学習規律が徹底されていき、だんだんとよくなっていくが、今年度の4年生はそれが遅いのではないかと考えている。1～4年生までを小中一貫教育では基礎期と捉えており、基礎期での学習規律を徹底することが必要である。この調査結果は現時点では1年限りのことなので、学年の特性であるのか、また来年度の4年生も同様の傾向にあるのかを見てみなければ、詳しい理由はわからないが、基礎期での指導がさらに必要になっている状況であるのかもしらないため、今後も学習規律の徹底に力を入れていきたいと考えている。
教育長	注目して検証していく必要がある。 このとおり承認してよろしいか。(全員了承) それでは、報告第50号を承認いたします。
教育長	報告第51号 「(仮称)第2次宇都宮市読書活動推進計画」の策定体制等について説明願います。
生涯学習課長	【説明要旨】 ○ 平成29年度で計画期間が終了する「宇都宮市読書活動推進計画」の改定計画である「(仮称)第2次宇都宮市読書活動推進計画」の検討内容や策定体制等について説明。
教育長 教育長 教育長	説明が終わりましたが、質疑などありますか。(特になし) このとおり承認してよろしいか。(全員了承) それでは、報告第51号を承認いたします。
教育長	報告第52号 「教員研修計画」の策定体制等について説明願います。
教育センター所長	【説明要旨】 ○ 「教育公務員特例法」の一部改正により、今年度から、県が策定する「教員等の資質の向上に関する指標」を踏まえて策定することとなった「教員研修計画」の策定体制等について説明。
教育長 教育長 教育長	説明が終わりましたが、質疑などありますか。(特になし) このとおり承認してよろしいか。(全員了承) それでは、報告第52号を承認いたします。
教育長	その他の案件については、資料提供のみですので、後ほどご覧ください。 【公開できる案件の終了】

教育長

これからの議案については非公開の案件であるため、傍聴者等の退席をお願いいたします。

【傍聴者の退席，非公開審議の開始】

報告第46号 教育行政相談の内容と対応について

⇒ 承認

【非公開審議の終了】

教育長

以上で議事は終了となります。

教育長

次に，その他案件にかかる自由討議に入ります。

教育長

本日は，伊藤委員よりご意見をいただきたいと思ひます。

教育長

それでは伊藤委員，よろしくお願ひいたします。

伊藤委員

部活動について，先日，教職員との懇談会の中で若手教員から，あまり得意でない競技を担当している実情や，反対に，好きな競技を担当していて充実しているという話を聞いた。国が働き方改革を進めている中で，教員には，ある程度の時間的余裕を作つてあげることが必要であると考えており，一生懸命取り組んで大会にも全て引率したいという教員でも，家庭の事情などどうしても仕方がない時に頼むことができるよう，新たにできた部活動指導員の制度を確立していかないといけないのではないか。特に子育て世代の教員にとっては，教育委員会が，学校の教育だけでなく家庭内の教育も考えることにより，時間的なゆとりを作つていく必要があるだろう。せつかく指導員制度ができたので，予算をとれるように検討してほしいということが私の提案であり，進捗状況を教えてほしい。

学校健康課長

既にある外部指導者は技術指導のみであるが，今回新たに国で設立された部活動指導員は，顧問や管理監督者として部活動全般に関わり，大会の引率もできる者である。現場の教員の声の中には，これまで経験していないような部活動指導をしていることへの負担や時間的負担がある状況であるため，対応を検討しているところである。現時点では，技術指導専門の外部指導者と，顧問等としての部活動指導員の制度を併設して対応していきたいと考えている。小規模校など，複数の部活動を担当している教員からも話を聞き，両方の制度をうまく活用しながら効果的に部活動指導ができるように，制度設計をしていきたい。

伊藤委員

来年度なんとか予算化できるようにしてほしい。

学校健康課長

来年度の予算に盛り込めるよう，準備を進めているところである。

教育長

今回は山田委員を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

教育長
教育長

その他委員の皆さまからご意見などございますか。(特になし)
それでは事務局から連絡事項をお願いいたします。

事務局

連絡事項説明 (教育企画課長補佐)

- 今後の会議等の日程について
 - ・ 10月18日(水) 午後 1時45分～ 教育施設視察(緑が丘小)
午後 3時20分～ 委員 de サロン
 - ・ 10月20日(金) 午後 1時30分～ 定例会
委員 de サロン
- 委員協議会について
 - ・ この後、休憩をはさまずに委員協議会を開催する。

教育長

以上をもちまして、本日の委員会を閉会といたします。
終了時刻 午前11時55分

署名委員

署名委員
